

平成21年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野市福祉公社						
① 事業	指標名	医療ケアを担えるヘルパーの育成			目標値	15人	実績値	15人
	過去の実績 (単位: 人)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ <u>達成</u>
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 これからは在宅で医療ケアを実践するニーズが増大する。入院中の利用者も医療ケアの実践により自宅復帰が可能になり、本人福祉の実現に寄与する。公社は市内の民間事業者の研修機能を担っているため、まず、パイロット的に実践知を蓄積し、それを基礎として市内の事業者へノウハウを提供する。医療ケアを実践するために①ヘルパーが出来る医療行為・初級編研修(2講座で4時間を1回の研修とする)を2回実施し、計136名が受講した。この他、②訪問介護との連携、薬の取り扱いの基本の研修(医療研修)を実施し、40名が受講。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 公社のネットワーク機能を発揮し、専門職による研修を実施した。また、医療研修に参加したヘルパーに独自の修了証を渡し、今後の研修の糧とし、動機付けを強化することを期した。21年度に育成したヘルパーの数は、この修了者の中からホームヘルプセンター武蔵野と雇用契約を締結した職員コーディネーターである。今後、これらの人材が核となり、OJTを通じて一般のヘルパー指導をしていく。						
二次評価	スキルを持った職員を一定数確保する意味では、人数を目標値としそれを達成したことは評価できる。今後も育成を継続していくこと。							
② 財務	指標名	経常収支比率の改善			目標値	95.0%	実績値	109.6%
	過去の実績 (単位:)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	84.6%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①有償在宅サービス事業の見直しによる料金体系変更の検討、また成年後見事業の拡大による後見報酬等の収入増など、事業収入の増加を図る。 ②事業経費の縮減の検討を行う。特に車1台を廃車し、それに伴う1台分の駐車場の経費も減らした。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 有償在宅福祉サービスと権利擁護事業の統合を行ったが、料金体系の変更まで手がつけられなかった。また成年後見事業については、後見報酬の大幅な収入増により目標を達成した。事業経費の縮減のためには今後、より細かな精査と努力が必要である。						
二次評価	車の廃止など努力は見られるが、ここ数年未達成が続いている。一層の取り組みを期待する。							
③ 人事	指標名	職員研修のさらなる充実(専門研修・視察研修除く)			目標値	300人	実績値	276
	過去の実績 (単位:)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	92.0%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 福祉公社の職員として、また武蔵野市の在宅福祉サービスに携わる者の牽引役としての自覚を高めるため、全職員(準職員を含む)を対象とした中長期事業計画、武蔵野市健康福祉総合計画についての研修を実施した						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 中長期事業計画、武蔵野市健康福祉総合計画についての研修のほか、全職員にとって必要なコンプライアンス研修、プライバシー研修、ストレスマネジメント等の研修を実施し、職員の資質の向上を図った。今後も、職員の使命感、倫理観を高める研修等を引き続き行う。						
二次評価	研修の効果は必ずしも参加者数で計れるものではないが、目標未達成は好ましくない。今後も有効な研修を実施し、その内容が意識に定着し、行動として現れるような取り組みを検討すること。							